

乳腺外来受診の流れ

乳房に異常を確認した時や検診で要精査になった時は乳腺外来を受診して下さい。少しでも安心して受診していただけるよう受診の際の流れをご紹介します。

*** 原則予約制です ***

- ① **受付**後、総合待合でお待ち頂きます。
検診結果や紹介状は受付に出してください。
- ② **問診** 現在の症状、既往歴や家族歴についてお伺いします。
他にかかりつけがある方はお薬手帳や検査データ等お持ちください
不安な事や気になることは遠慮なくお伝えください。

- ③ **視・触診** 乳房や乳頭に異常がないかしこりがないかを
視診や触診で確認します。



- ④ **エコー検査、マンモグラフィー検査**を行います。
検査結果は当日中に聞くことができます。

エコー 痛みや被ばくは無く、乳腺の密な若い人の診断にも使うことができます。放射線を使わないので妊娠中でも安心です。

マンモグラフィー 小さなしこりや石灰化の発見に有効です。圧迫板で乳房をのばして撮影します。多少痛みがありますが伸ばして薄くするほど癌を見つけやすくなります。乳腺が発達している閉経前の方はマンモグラフィーを行わない場合もあります。



病気が見つからなければ結果説明を受けて診察終了です。
所見があれば次の検査へすすみます。

⑤ **細胞診** 細い針を腫瘤に刺し細胞を採取します。

麻酔が要らず傷も残りませんが確定診断が難しい場合もあります。
結果が出るのに 2 週間程かかります。

⑥ **針生検** 局所麻酔が必要です。皮膚を 2～3 ミリ切開し少し太い針で腫瘤の組織の一部を採取します。検査の後は入浴できません。検査の翌日も来院していただき、傷の状況を確認させていただきます。細胞診よりも正確な診断が可能で癌の性質もわかります。検査結果は 1 週間後の説明になります。

乳房にしこりが見つかっていても良性の疾患の場合が多くありますしこりが触れたり違和感を感じても自分で判断せず不安がらずに専門医の受診をお勧めします。

基本は「の」の字

4本の指をそろえ、指の腹を使って、10円玉大の「の」の字を書くように動かします。



鏡の前で

鏡で、両方の乳房の形を見ます。くぼみ、ただれ、へこみなどがないかどうか調べます。



入浴時に

腕を上げ、丁寧にしこりの有無を調べます。乳頭の周辺を軽くおさえて分泌物がないかどうか調べましょう。



あお向けに寝て

腕を上げて乳房の内側、外側、脇の下にしこりがないかどうか調べましょう。

